



ルイボスの鎮静、治癒、疾患予防、および抗肥満作用の科学的解明に一步前進

ルイボスティーの効能の解明に 200 万ランドの助成金を交付

南アフリカの研究者は、数百万ランドの研究助成金により、ルイボスティーの鎮静、治癒、疾患予防、および抗肥満作用の科学的解明が一步前進することを期待している。

南アフリカ・ルイボス審議会 (South African Rooibos Council: SARC) は、ルイボスの年間研究費として 200 万ランドの予算を計上した。これには特に、ルイボスティーのアンチエイジング、抗肥満、癌予防作用、および運動時のパフォーマンスと運動後の回復におけるルイボスの効能に関する研究が含まれる。

すでに、1 杯のルイボスティーにはリラックス効果とストレス耐性の向上効果があるという「通説」を裏付ける科学的根拠の解明に向けて前進している。

ステレンボッシュ大学、生化学学部の研究チームは、アマンダ・スワート教授による指導の下、ルイボスティーにストレスと不安を緩和する成分が含まれていることを発見した。

ルイボスティーは、コルチゾール (ストレス・ホルモンの一種。副腎によって分泌されるステロイド・ホルモン) の生成を抑えることによって作用する。研究者は、コルチゾール値が低下することにより、ストレスに対する身体反応の改善が見られることを発見した。

スワート教授とそのチームは、ストレス低減効果に寄与するルイボスの 2 つの希少成分、アスパラシンとノトファギンを特定した。この研究結果は、昨年末に『The Journal of Steroid Biochemistry and Molecular Biology (ステロイド生化学および分子生物学ジャーナル)』において発表された。

「血液中のストレス・ホルモン濃度を正常に保つことは、健康な生活を送るうえで非常に重要です。血液中のコルチゾール濃度が高い状態が長期間続くと、2 型糖尿病、心臓病、高血圧などの疾患につながります。そのため私たちは、ルイボスティーが、高いコルチゾール値のもたらす人体への悪影響を緩和する可能性があるという研究結果に非常に興奮しています。」と彼女は語る。

ウェンツェル・ゲルダーブロム教授は、ルイボスティーとハニーブッシュティーの癌予防作用に関する 10 年にわたる研究を今後も継続する。これまでの研究により、ルイボスティーに含まれる抗酸化物質によって皮膚癌を予防できる可能性があることがわかってきた。

マウスによる紫外線誘発性の皮膚腫瘍に対するハーブティー・エキスの効能に関するある研究では、マウスあたりの腫瘍の数がグリーン・ルイボス (非発酵ルイボス) では 75%、発酵ルイボスでは 91% 減少した。また、どちらのルイボスティーにおいても、腫瘍のサイズが減少した。

T +27 21 511 4991 F +27 21 511 1453

E info@khoisantea.com W www.khoisantea.com

PO Box 1162, Green Point, 8051, Cape Town, South Africa

KHOISAN TEA IMPORT AND EXPORT (PTY) LTD REG. NO. 2002/021157/07 Director: P. Schülke



ルイボスの抗糖尿病作用と抗肥満作用に注目 糖尿病の抑制に効果が期待

2011年11月14日の世界糖尿病デーには、世界的な疾患へと急速に変貌しつつあるこの致死率の高い無症候性疾患に世界が注目する。肥満は、2型糖尿病の罹患と直接関係している。肥満人口の増加を受け、南アフリカの主要な研究者のグループは、南アフリカ固有のハーブティーであるルイボス、特にその抗糖尿病作用と抗肥満作用に注目している。この研究プロジェクトを共同で監督しているのが、医学研究審議会（Medical Research Council: MRC）の糖尿病診断グループに在籍しているヨハン・ロウ博士と農業研究審議会（Agricultural Research Council: ARC）に在籍しているリゼット・ジュベール教授だ。彼らは、国際的なバイオテクノロジー研究グループである MC2 Biotek Group と共同研究を行っている。

ロウ博士は、「健康な人の細胞はグルコースを効率的に貯蔵して使用しますが、糖尿病患者ではこの機能が低下しています。」と説明する。「私たちは糖尿病動物および細胞モデルによる前臨床研究において、ルイボス・エキスに関する有望な結果を得ました。この機能において、ルイボスに含まれる化合物が一定の役割を果たす可能性があるのです。」

「私たちは、引き続き研究を行い、動物およびヒトにおけるルイボスと肥満の関係を明らかにしていく予定です。」

ヒトにおける研究で良好な結果が得られれば、健康に大きく寄与すると考えられるルイボス・エキスの栄養補助食品への応用につながる可能性がある。

この研究プロジェクトは、ルイボスティーの健康への効果を明らかにし、理解するための一連の独立研究プロジェクトの一環として、南アフリカ・ルイボス審議会による支援を受けている。南アフリカ・ルイボス審議会は、この専門的な研究に対し、3年間に約100万ランドを出資する予定だ。

特記事項

- 糖尿病患者数は3億人を超えている。効果的な介入策が見つからない場合、2030年までに、この数字が倍増する可能性が高い。糖尿病による死亡者数の約80%は、低所得国および中所得国に集中している。（情報源：WHO（世界保健機関））
- 世界糖尿病デーは、チャールズ・ベスト氏とともに1922年のインスリンの発見と糖尿病患者の治療に貢献したフレデリック・バンティング氏の生誕を記念して、11月14日に定められている。
- 糖尿病管理におけるルイボスの可能性に南アフリカが注目した背景には、他国における研究結果がある。スロバキアの科学者は、特に眼膜における糖尿病性血管合併症の予防と治療に効果があるとして、ルイボスを推奨していた。日本の科学者は、ルイボスが筋細胞へのグルコースの貯蔵を促進することにより、糖尿病マウスにおいて正常な血糖値が維持されること、およびルイボスが膵臓β細胞を刺激してインスリン分泌を促進することを発見した。
- 同業者による論評の対象となる科学誌において発表された最新のルイボス研究の要約が www.sarooibos.co.za に掲載されている。

T +27 21 511 4991 F +27 21 511 1453

E info@khoisantea.com W www.khoisantea.com

PO Box 1162, Green Point, 8051, Cape Town, South Africa

KHOISAN TEA IMPORT AND EXPORT (PTY) LTD REG. NO. 2002/021157/07 Director: P. Schülke